とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年6月中旬～下旬
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

見上てみよう！！

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・梅雨時期になり雨が多くなることや、春から夏に変わっていくことなど季節の変化や天候に興味を持つ子どもがいた。

2、活動スケジュール

・季節とは4つに分かれるが日にちは決まっていない、梅雨時期に雨が多いのはなぜだろう、雲の形や色によっても天気は変わってくるなどを図鑑や絵本で見たり、保育者の話を聞いて実際に戸外で雲を探してみる

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・雲の形や名前などがわかるイラストや図鑑
・戸外で自由に遊んだり、子ども達と空を見上げる時間

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・四季、梅雨時期に雨が多くなること、雲を見ると天気がわかることがあるなどの話を保育者から聞く
・雲に注目して、雲の種類、名前、空にあるとどうなるのかなどを聞いて知る
・実際に戸外に出て雲探しを楽しむ

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・「その雲、見たことある」「雨が降りそうだよね」「黒いね…」など写真を見て思ったことを友達と話し合ったり、保育者の話に「当たった！」と知っていたことを喜んだり、「そうなんだ」と新しいことを知り覚えていた。 ・園庭に出ると保育者が言っていた話をすぐに実践したかった子どもが、友達と雲を探し始めた。「あの雲はカエルみたい」「どれどれ？あれかな？」「そうそう」と話し想像を膨らませていた。 ・保育者から「ひつじぐもはどこでしょう？」と言う問題に「あれかな？」「こっちだよ」「えー、まぶしくて見えないなぁ」「（両手を）めがねにして見ると見えるよ」「本当だ」などやりとりが多く生まれていた。この後、保育者から正解を聞き、「当たった」と喜んでいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・季節の変化や梅雨は気象状況により決まるので「この日」と決まっておらず、また目に見えるものでもないのでわかりづらいかと思ったが興味を持って話を聞いていた。「春と夏の雲が喧嘩してるから雨が降るんだよね」「どんな雲だろう」「昨日、雨の雲みたよ」など子ども達の会話に自然の話が入っていることに驚いた。保育者が話した日以外でも「昨日ひつじぐも見たよ」「虹が出てたよね」「見た見た！」など会話が広がり楽しい活動になっている。